3-P-6

形態学における EdTech の活用と ICT 教育システムが細胞診断学の教育に与える影響

佐野太亮[1)]
布引 治[1)] 中田康夫[2)] 高松邦彦[3)] 畠 榮[1)]

【はじめに】
文部科学省は教育の情報化加速化プランを策定し、2020 年度までに教育の情報化を強力に推進している。その中で学ぶための教材はデジタル化し、必用に応じてアクセスして使用出来るような環境や実際に使用する教材の開発が求められている。今回我々は、細胞検査士資格認定試験の筆記試験対策に対して、デジタル問題集が有用であるかを検討した。
【使用した、データベースおよび検討方法】
現在医療検査学科では、過去 5 年間分の筆記試験問題、約 600 問を多くの OS に対応した FileMaker（ファイルメーカー社）データベース管理システム (DBMS)を用い管理している。このデータベースを活用するため、現在データベースに存在する 5 択問題から、思考能力が必要とされる語句記入問題を、本システムでデータベース化し、デジタルの筆記試験対策問題集（以下、デジタル問題集）を作成した。デジタル問題集の利用には、ソフトが無料公開されている iPad を用いた。
検討方法としては、まずデジタル問題集と紙媒体の問題集の 2 群に分け、それぞれのテキストを使用して暗記を行ってもらった。その後小テストを行い成績を比較した。暗記してもらう科目については、細胞検査士資格認定試験で必用とされる総論、技術、婦人科、呼吸器、消化器、体腔液・その他の 6 科目を使用した。

1）保健科学部医療検査学科　2）保健科学部看護学科　3）教育学部こども教育学科